



2026年 3月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

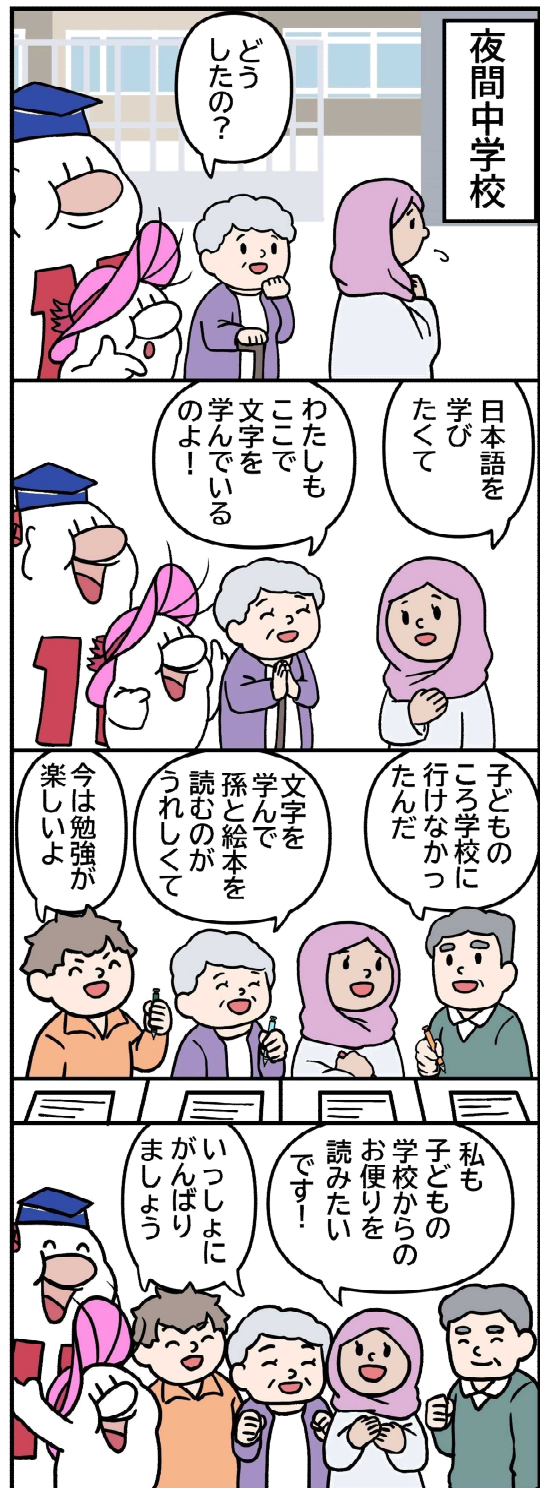
事務局 人権センター

天理の夜間中学(天理市立

北中学校夜間学級)の紹介

天理の夜間中学は、「学校で学びたい」という地域の義務教育不就学、未終了の人たちの切実な声に応えるために、1979年に「天理の夜間中学をつくる会」による自主夜間中学として始まりました。そして1981年に天理市が市民の要望に応える形で公立の学校となりました。

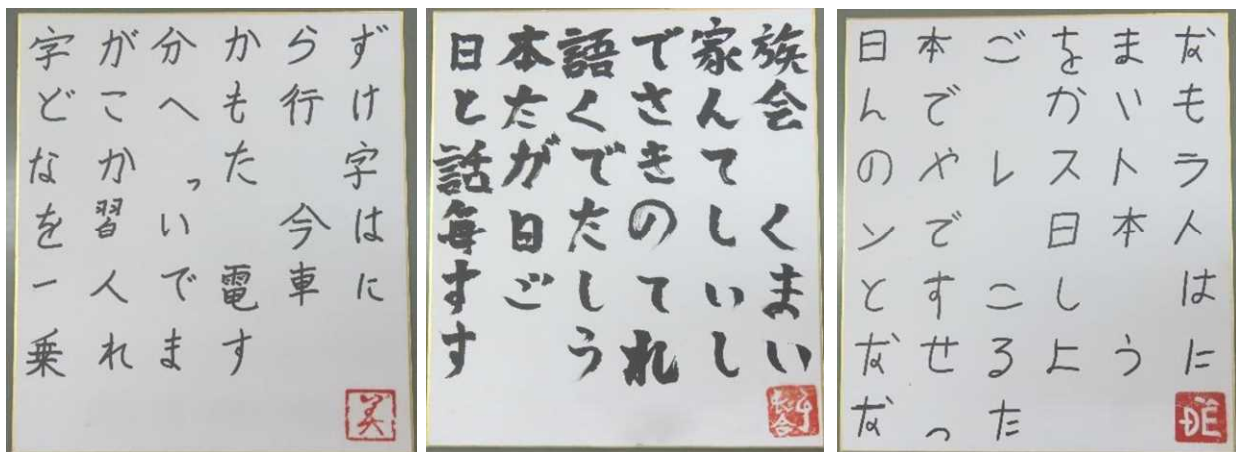
現在、天理の夜間中学には、生い立ち・境遇・年齢・民族・国籍・地域など様々な違いを持った32人の生徒さんたちが在籍しています。戦争・差別・障害・貧困・病弱・家庭事情・いじめによる不登校などの理由で、学齢期に教育の機会を十分に保障されなかった人たちが仕事や結婚で主にアジアや南米地域から日本に来た人たちが、自らの学習課題に向き合いながら学んでいます。



生徒さんたちは、学べなかった文字やことばを取り戻し、なかまと共に夜間中学で学ぶことで、人や社会とのつながりを深め、人としての自信を回復していきます。それはまさに「学ぶことで人権を回復していく」ことにつながります。生徒さんたちが夜間中学で学ぶことの意義はそこにあります。

夜間中学の存在を多くの人に知っていただくために、文化祭を開催したり、天理駅南団体待合所などで「天理の夜間中学展」を開いたりして共同作品や作文などを市民の方々に見ていただき、感想なども寄せていただいています。このようなとりくみを積み重ねることで広く市民の皆さんに夜間中学への理解が深まることを願っています。

色紙の作品「夜間中学への思い」



2025年度 ちぎり絵共同作品 「学んで 気持ちが 落ちつくところ やかんちゅうがく」

